

児童一人ひとりが生まれてよかったと実感し未来に力強く生きるために ～自分とまわりの人を大切にしよう～

富士見市立勝瀬小学校 小林 彩乃

1 本校の人権教育の基本的な考え

○目指す児童像

- ・知識を身につけ、正しい判断に立ち、行動できる子
- ・相手の立場に立ってものを考え、認め合い助け合うことのできる子
- ・差別をなくす実践力のある子

重点①包括的セクシュアリティ教育について

生殖や性交についてだけではなく、人間関係を含む幅広い内容（性的同意、性の多様性、ジェンダー平等、コミュニケーションなど）を体系的に学ぶ教育のこと。

重点②学校での多様性について

家庭で日本語を話さない子、不登校（傾向）、様々な家庭の形、発達上の課題、性別等ジェンダーについての対応

2 具体的な取組

- (1) 各教科授業の年間計画の確認
- (2) 毎月の取り組み
 - ア あのねカード
 - イ 毎月の生活目標の自己決定（かつせタイム）
 - ウ 校長講話
 - エ 月に2回程度、朝の時間のぼかぼかタイム

- (3) 行事ごとの取組

宝物ファイル

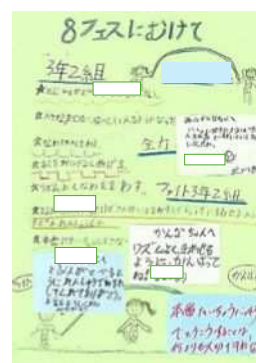
- (4) 人権週間（人権月間）

人権週間⇒各学期にテーマを設け、1週間ずつ実施。

- 【1学期】 仲間、友達
- 【2学期】 性の多様性、文化の違い
- 【3学期】 福祉、能動的感謝

- (5) いのちの安全教育とジェンダーについての授業

①いのちの安全教育



学年	テーマ	教材・内容
1	知ろう！守ろう！心と体 ～プライベートパーツ～	プライベートパーツをもとに、自分も相手も大切にするにはどうしたらいいか考えさせる。
2	こちよいふれあいと こちよくないふれあい	・『はじめにきいてね、こちよこちよモンキー！』という絵本を用いて、心と体を守る「同意」「やめて」のスキルを習得させる。 ・動育を通して、ふれあいの心地よさを感じさせる。
3	子どもの権利条約	「子どもの権利条約」4つの柱、生きる権利、育つ権利、守られる権利、参加する権利について調べ、共有する。
4	うまれてくるわたし ～生命の誕生～	保健での「初経」「精通」の指導を踏まえ、命の誕生の仕組みや、命にこめられた思い、その大切さを指導する。また、『ぼくのはなし』和歌山静子（著）という絵本を用いて妊娠のしくみについても触れる。
5	「すき」って何だろう	「すき」の違いがあるからこそ行動の変化することに気づき、パートナーと良好な関係を築くために、「今」できることは何かを考えさせる。

6	ネットモラル 対等な関係づくり	インターネットの便利な点や危険な点について、また、LINE等での具体的なトラブルの事例を用いて、正しくスマホやインターネット利用できるよう「マイルール」を考えさせる。
---	--------------------	---

②ジェンダーについての授業

学年	テーマ	教材・内容	ねらい
1	自分らしさ ってなんだろう	・『たまごちゃん旅に出る』 ・『りつとにじのたね』 ・『王さまと王さま』 ・『タンタンタンゴはパパふたり』 ・『ピンクはおとこのこのいろ?』 など 人権啓発動画 「モモマルくんと考えよう！ LGBT編」など	★性別でなく、「自分らしさ」を問うことで、男女だけではなく人の数だけ性の数があることに気付く。 ★「男らしさ・女らしさ」というジェンダーバイアスにとらわれず、性の多様性を知り、「自分らしさ」「その人らしさ」を大切にしようとする態度を育てる。 ★言い返しのワークを取り入れ、「男なんだから、女なんだから」という言葉に対して、どのように言い返すかをグループで話し合う。 【参考資料】埼玉県人権感覚育成プログラム〔学校教育編〕事例編7 あなたならどうする
2			
3		NHK for school「男らしく女らしくがいいの？」	
4	いろいろな性ってなんだろう すきになるってどういうこと？	・絵本『すきっていわなきやだめ?』 ・動画 ReBit「いろいろな性ってなんだろう」	★好きとはどのようなことかについて考える。 ★「異性愛」「同性愛」「無性愛」「両性愛」など、好きになる性にはバリエーションがあることを知る。
5	無意識のバイアス	・【セイバン公式】ランドセル選びドキュメンタリー篇 ・公益財団法人ACジャパン「聞こえてきた声」(全国キャンペーン 2023) ・Get Up! オーストラリア「it's time」	★動画視聴をし、子ども同士の話し合いをとおして、アンコンシャスバイアスについて考える。
6			

(6) 学級経営（生徒指導実践の4視点に沿って）

・自己存在感 ・共感的な人間関係 ・自己決定の場 ・安心、安全な風土

3 成果と課題（○と△）

○国際セクシュアリティ教育ガイダンスを参照し、本校の実態に応じたカリキュラム作成と実践をし、子どもたちの人権感覚の涵養を図ることができた。

△性についてのバイアスは大人のほうが強く、職員や保護者、地域の理解の方が課題である。

△妊娠に関しては道徳で扱ったが、妊娠に至るまでの過程には様々な形や事情があり、妊娠を「科学」として、教科書の内容に+αとして扱う方が望ましいと、助産師の櫻井 裕子 先生からご指導いただいた。

△思いやりや優しさなどの助け合いなどの気持ちだけでなく、知識がないと、知らず知らずのうちに相手を傷付けてしまっていることがある。小中の9年間を見据えて、必要な知識は伝えていく必要がある。



ヤングケアラー支援の取組について

入間市教育委員会社会教育課 浅見 信治

1 はじめに

本市は、埼玉県西南部に位置し、都心から40km圏にあり、狭山茶の主産地である。「香り豊かな緑の文化都市」を掲げ、首都圏にあつて変化に富んだ自然と、それに育まれた伝統文化と新しい文化の融合によるコミュニティが年々広がっているのが本市の特色である。また、日本初となるヤングケアラーに特化した支援条例を施行し、市の責務及び保護者、学校、地域住民等、関係機関の役割を明らかにし、社会全体で子どもを支える環境づくりを目指している。

2 入間市のヤングケアラー支援について

(1) 入間市ヤングケアラー支援条例（令和4年7月1日施行）

入間市では、ヤングケアラーを「本来大人が担うと想定される家事や家族等身近な者に対する介護、看護、日常生活上の世話その他の援助を無償で提供する18歳未満の者」と定義し、ヤングケアラーが個人として尊重され、心身の健やかな成長および自立が図られるよう、ヤングケアラーを早期に発見し、適切に支援していくために、ヤングケアラー支援条例を制定した。



(2) 主な支援施策

ア ヤングケアラーヘルパー派遣事業

市内に住むヤングケアラーがいる家庭に、週2回・1回2時間以内でヘルパーを派遣。

イ ヤングケアラー・コーディネーターの配置

専属のコーディネーターを中心に、市役所の関係部署、学校、地域住民、関係機関が連携し、切れ目のない支援体制を構築。

3 社会教育課の具体的な取組

(1) 人権啓発講座

ア ヤングケアラー（令和5年9月26日 藤沢公民館）

- ・演 題 「あなたができること あなただからできること」
- ・講 師 入間市子ども支援課職員
- ・内 容 入間市ヤングケアラーの実態調査結果、入間市ヤングケアラー支援条例
ヤングケアラーとは、グループワークによる事例検討
- ・参加者 19名（教育委員・人権教育推進協議会委員・人権擁護委員・PTA・一般）

【参加者の感想】

- ・テレビで見聞きするくらいだったヤングケアラーの実態を知ることができて良かったです。ヤングケアラーと一般家庭のお手伝いとの線引きが難しいのも事実かなと思いました。
- ・ヤングケアラーだと本人が認知する必要があると感じました。認知するのは難しいとは思いますが、学校からの情報・学び、気軽に相談できる場があると、気づくことができると思いました。

イ ケアラー（令和6年12月11日 宮寺公民館）

- ・演 題 「ケアラーって何？」
- ・講 師 株式会社クリアソ 代表取締役、東京福祉専門学校講師 吉田 澄枝 氏
- ・内 容 ケアラー・ヤングケアラーとは
ケアラーやヤングケアラーの問題
支援の視点、私たちにできること
- ・参加者 11名（教育委員・人権擁護委員・区長会・
PTA・一般）



【参加者の感想】

- ・ヤングケアラーという立場にあると思っても、サポート介入のきっかけには、まだまだハードルが高いと思います。学校や友人等を通し、信頼関係を築いていくことが大事だと思いました。
- ・自分も親の介護をしており、ケアラーに対しても様々な支援があることを学び、大変参考になりました。

（2）夏休み人権映画会

（令和5年8月 8日 西武公民館、令和6年8月20日 東町公民館、
令和7年7月29日 東藤沢公民館）

- ・作品名 「夕焼け ～ケアラー誰もが人権尊重される社会を～」（35分）
- ・内 容 幼い弟の世話や家事に追われ生活にしんどさを感じつつも、「家族のことは家族でするのが当たり前」という思い込みから、気持ちを押し殺して生活しているヤングケアラー。しかし、元ケアラーとの交流によって、自分の状況や本当の気持ちについて見つめ直し、将来に向き合うための一歩を踏み出す。
- ・参加者 41名（人権教育推進協議会委員・人権擁護委員・PTA・小学生・一般）

【参加者の感想】

- ・事例、講演でやるのもよいが、目で見るということはよりわかりやすい。助けてといえる居場所があるとよい。ヤングケアラーは、家事や介護などで学習が思うようにいかないということがわかった。
- ・子どもは背負っているものをうまく伝えられない。良い先生に出会えて良かった。皆が助け合うことの大切さがよくわかりました。
- ・入間市でも条例ができているとのことですが、とても身につまされました。何か役に立ちたいと思いました。



4 成果と課題

（1）成果

「具体的な取組」の事業実施後のアンケートでは、「内容が良い」「理解できた」など肯定的な評価が多く、感想からもヤングケアラーについての正しい知識を理解することができた。また、「夕焼け」はわかりやすく、ヤングケアラーの理解に役立った。

（2）課題

ヤングケアラーという言葉の認知度は徐々に広まってきているが、ヤングケアラーと家庭のお手伝いとの違い、どのように関わればよいのかなど難しい問題が多い。まずは、困っている子どもが周りにいることに気づくことを第一歩として、ヤングケアラーの周知をさらに進めていきたい。